

[004]史淵表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/2344442>

出版情報 : 史淵. 4, 1932-07-15. Faculty of Law and Letters of the Kyushu Imperial University
バージョン :
権利関係 :

斯界の渴望を醫する理想的教育科書の出現

九州帝國大學教授 長沼賢海先生新著

改定 新說 日本史 (文部省 檢定濟)

女子用 新說 日本史 (文部省 檢定濟)

實業學校用 新說 日本史 (檢定 要)

著者は思想問題に對するには、世人をして國史に親ましめ、日本民族の今日ある所以を知悉せしめ、以て各般の思想に直面せしめるに如くはないと考へられ、あらゆる機會に國史教育の宣傳に努力せられつゝありましたが彼の共產黨事件の起るに際し奮然中等學校の國史教科書の編纂に着手致されました。而してそれに心血をそそぎ全然助手を用ひず獨力多年の經驗と信念を此の教科書に打ち込まれました。新說日本史の「新說」たる所以は教科書の隨所に滿ちあふれてゐます。挿畫の嶄新、印刷の鮮明は申すに及びません。國史教育改善のために専念せられる方々はまづ本書の内容を一見せられて、その特色を御認め下さい。そしてこの理想的教科書の御採用を切望いたします。教科書の教材解説であると共に著者の國史教育に對する抱負を詳説せられた堂々壹千頁の大著「新說國史教授の研究」は右教科書御採用の各位へ洩れなく拜呈します。

(特色一般) 思想悪化の時世を考慮して編纂せられしこと。御聖徳に關する記事の豊富なること。史實の意義を説明して日本民族の現實を理解せしめんとしたこと。文化史實の記事の多きこと並びにその説明に苦心せること。史實の根據出典を細説して時代精神に觸れしめんとしたこと。挿畫鮮明新にして豊富なる事。著者は九大教授として史學の純研究者なれども嘗て廣島高師に在任し、又中等學校にも多年奉職の經驗ありて、中等學校の國史教育に深き理解を有する事。

菊判全二冊
初學年用金壹圓二十錢
上學年用壹圓四十五錢
送料金十二錢

菊判全二冊
卷金七十二錢
下卷金一圓十八錢
送料金十二錢

菊判全一冊
定價金一圓二十五錢
送料金八錢

發行所 東京 市東 町替 五五 區八 士富 町一 見八 町五 九番 教育研究會

九州帝國大學教授 長沼賢海先生著

日本宗教史の研究

菊判一千餘頁
特製函入
定價拾圓
特價金八圓也
送料四十五錢

本書は著者が半生の心血を濺ぎて成せるものであつて其該博なる識見と透徹せる史眼は固く閉された神秘の城門を開いて其人間的な社會的意味經濟的意味の真相を究め從來表面的にのみ取扱はれて來た宗教史の研究に一新紀元を劃したもので、東京の大橋、日比谷、帝國の三大圖書館に於ける、最近一年間の統計中最も精讀された圖書中の第一位に我が日本宗教史の研究のある事は決して偶然ではない。

本書に收むる所すべて十五篇 その間主なる題目を列舉すれば、蓮如上人と一揆運動、えびす神研究、念佛僧の妻、天満天神の信仰の變遷、倭寇とパハン船及寶船、西宮及び神安藝門徒と嚴島及石山の戰爭、大黒天の形容及信仰の變遷、天草のはなれ切支丹の研究、宗像神社の阿彌陀經石、時頼の廻國説と其信仰、平戸獅子村の離れ切支丹等是である。

是等の論文を通じて顯著なる特色は、第一には綿密なる用意である。凡そ一つの問題に對するや、著者は之を解剖して幾多の疑案を出だし、その解決の爲に博く群書を渉獵し、苟くも之に關聯する記事は網羅して餘さず、仔細に考究して遺漏ながらん事を期した。それ故に著者の論をやるや險路に屈せず、長途に疲れず、山に當れば山を夷らげ、河に遭うては河を埋むるの概があり、それと同時に、遂に鹿に遭へば鹿を逐うて密林に入り、遂に兎に遭へば兎を追うて曠野に出づる趣がある。これ純乎たる研究者の風格である。第二に、囚はるゝ所なき自由である。宗教の史實は、いづれの時いづれの所に在つても、その教徒によつて神化せられ、靈化せられて、信仰の密雲ふかくこれを蓋うて居り、この密雲を破り、この權威を破り、率直に、平明に、その真相を見、又之を語る事は容易な事でない。しかるに著者は、身寺院に生れたるに拘はらず、少しも權威を恐れず、聊かも傳説に禍されずして、極めて大膽に批判し、自由に論述してゐる。純乎研究者の態度、欲すべき英姿である。(文學博士平泉澄氏批評抄)

發行所 東振 京替 市東 麴京 町五 區八 富八 七壹 見壹 町八 五〇 九番 會究研育教